

お客様各位

■□=====

□

株式会社 京浜予防医学研究所

■□ KMLメールニュース □■ ◆◆ VOL. 53 ◆◆

□

=====□■

株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！

2014年 1月 18日発行

□■-----<http://www.kml-net.co.jp/>

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しく願い申し上げます。

KMLメールニュースVOL. 53をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 花粉症の低年齢化について
- 【2】 自己免疫疾患について 抗dsDNA抗体
- 【3】 冬季に流行するノロウイルスの発生時期と遺伝子型について
- 【4】 KMLインフォメーション 11月～1月分のお知らせ

1 花粉症の低年齢化について

○年齢によって感作率が上昇するアレルゲンが異なります
花粉症の低年齢化が報告されて久しいですが、アレルゲンによって感作率が上昇する年齢が異なります。スギの場合は2～4歳までに感作率の上昇が認められますが、カモガヤやブタクサは6～10歳にかけて感作率が上昇します。※1

また、アレルギー外来受診児の半数はカモガヤに感作されていたとの報告があり、スギだけではなく注意が必要なアレルゲンになります。
ブタクサはカモガヤ同様に6～10歳から感作率が上昇し、感作率は30%弱と報告されています。※1
ブタクサは秋の花粉症の代表的なアレルゲンですが、スイカ・メロンなどのウリ科果物、野菜やバナナなどに合併する食物アレルギー（PFS）が報告されています。

○花粉症の低年齢化
2008年に行われた全国的な調査によると10年前に比べ各年代において、花粉症の有病率が上昇しており、小児領域においても例外ではありません。また各地域の調査でも同様の報告があります。※2

花粉症の低年齢化の原因として、花粉飛散量の増加、住宅の気密性の向上、感染症の減少、生活様式や食生活の変化、大気汚染物質の影響、衛生仮説など諸説はあります。

京都で行われた調査では、15年前に比べてスギ花粉に対する特異的IgEの結果がクラス2以上であった頻度（40%⇒60%）が高くなったと報告されています。特に7歳以降になるとその差が顕著になっています。感作が進むにつれて、成人になってからのQOL悪化につながるとの指摘もあり、小児の段階で適切な治療をすることで、QOL向上に寄与できる可能性があります。

【お勧めのセット】 CAP16 鼻炎・喘息（項目コード2440）

原因物質はスギだけとは限りません

○季節性抗原（花粉飛散時期）
スギ（2～4月）・ヒノキ（3～5月）・ハンノキ（1～5月）
カモガヤ（5～8月）・ブタクサ（8～10月）・ヨモギ（8～10月）
ガ（初夏・秋）・ユスリカ（初夏・秋）

○通年性抗原
ハウスダスト1・ヤケヒョウヒダニ・ネコ皮膚・イヌ皮膚
ゴキブリ・アスペルギルス・アルテルナリア・カンジダ

検査項目 : CAP16 鼻炎・喘息
検体量 : 血清1.2mL
容器番号 : 1
保存方法 : 冷蔵
検査実施料 : 1430点
検査判断料 : 144点 (免疫学的検査)
所要日数 : 3~5日
基準値 : 0.34UA/mL以下

参考文献

- ※1 アレルギー 48 (10) 1166-1171, 1999
- ※2 Medicine Vol 28, 9, 2008

2 自己免疫疾患について 抗dsDNA抗体

自己免疫疾患について、今号では「抗dsDNA抗体」をご紹介します。

- 抗dsDNA抗体測定の意義
抗dsDNA抗体は、全身性エリテマトーデス(SLE)に対する特異性が高く、SLEの診断基準の一つです。また、その抗体価はSLEの疾患活動性を反映すると報告されており、抗dsDNA抗体の測定はSLEの診断・治療方針の決定や、治療効果の判定など、病態の把握に重要な検査項目であるとされています。
- 抗dsDNA抗体 測定法 ※1
抗dsDNA抗体の測定法として従来は、硫酸沈殿法を利用したFarr-RIA法が使用されていましたが、放射性物質を使用することによる制約などの問題で、近年では酵素標識抗体法(ELISA法)が汎用されています。
しかし、Farr-RIA法とELISA法は、捉える抗dsDNA抗体の免疫グロブリンクラスや親和性が異なり、同じELISA法を原理とする測定キット間においても、使用する抗原の違いや測定に用いる洗浄剤組成の違いがあります。市販されているいずれのキットもWHO標準品Wo/80により検定されているにも関わらず、これらの理由により、測定値に差が生じることがあると報告されています。
Farr-RIA法はSLEの活動性や腎症と相関する高親和性の抗dsDNA抗体を捉えるとされていますが、近年汎用されているELISA法は低親和性から高親和性の抗dsDNA抗体まで広く抗体を検出するため、対象疾患であるSLE以外の疾患でも陽性になることが報告されました。
- エリア dsDNA
蛍光酵素免疫測定法(FEIA法)を原理とする抗dsDNA抗体測定キット「エリア dsDNA」は、測定に塩濃度の高い洗浄液を使用することにより、比較的高親和性の抗dsDNA抗体を捉えるため、従来のELISA法と比較しSLEに対する疾患特異性が高く(下表参照)、SLEの疾患活動性を反映するため、臨床的意義が高いと報告されています。※2

抗dsDNA抗体陽性率 ※3

	エリア	他社法
SLE	76.7%	90.0%
自己免疫性肝炎	9.5%	52.4%
原発性胆汁性肝硬変	2.5%	82.5%

- ※1 抗dsDNA抗体測定試薬「ユニキャップ エリア dsDNA」の臨床的有用性の検討 医学と薬学 63(1):135-138. 2010.
- ※2 全自動免疫測定装置ユニキャップ250を用いた「ユニキャップ エリア dsDNA」の検討 総合病院国保旭中央病院 JJCLA Vol.34 No.5 2009
- ※3 2種の抗dsDNA抗体測定キットの疾患特異性に関する検討 医学と薬学 63(2):331-334. 2010. 一部改変

3 冬季に流行するノロウイルスの発生時期と遺伝子型について

冬季に流行する感染性胃腸炎および食中毒の主要な原因の一つにノロウイルスがあげられます。発生状況は年間を通じて発生が見られますが、発生件数は11月頃から増加し始めて12月から翌年の1月頃にピークを迎え、3月頃まで発生件数が多い傾向があります。

ノロウイルスの遺伝子群はGenogroup I (GI)とGenogroup II (GII)の2つの遺伝子群に分類され、さらに遺伝子型 (genotype) によって分類されています。検出されるGenogroupのほとんどはGIIであり、その大半のgenotypeはGI/4が占めています。

2006/07シーズンに流行したノロウイルスの遺伝子型の大部分はGII/4でしたが、感染力が強い・変異を起こしやすい特徴があり、この事が過去にGII/4に感染をしたことがある人でも、免疫が十分に働かずに再感染して流行に繋がったと考えられています。

※KML INFORMATION 25-22をご参照下さい。
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-1213-1.pdf>

検査項目	:	ノロウイルス迅速検査
項目コード	:	5571
検査材料	:	糞便小指頭大、又は1mL相当量
容器番号	:	56
保存方法	:	冷蔵又は凍結保存
検査実施料	:	150点 ※
検査判断料	:	144点 (免疫学的検査) ※
検査法	:	イムノクロマト法
所要日数	:	1~2日
基準値	:	(-)

※以下のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に算定する。

- ア 3歳未満の患者
- イ 65歳以上の患者
- ウ 悪性腫瘍の診断が確定している患者
- エ 臓器移植後の患者
- オ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者

4 KMLインフォメーション 11月~1月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2013年 12月 10日 越年不可能項目 平成25年年内最終受付のご案内
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-1210-1.pdf>

2013年 12月 10日 年末年始業務のご案内
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-1210-2.pdf>

2013年 12月 13日 ノロウイルス迅速検査のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-1213-1.pdf>

2013年 12月 13日 検査報告書改訂のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-1213-2.pdf>

2014年 1月 6日 新規受託項目のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2014-0106.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

= = = = = □ ■